

# 四 国 銀 行

ミニディスクロージャー誌

第201期営業の中間ご報告

平成26年4月1日～平成26年9月30日



MINI DISCLOSURE 2014

皆さまには、平素より四国銀行グループに格別のご支援、お引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

このたび、当行では、皆さまに一層のご愛顧を賜りたく「ミニディスクロージャー誌第201期営業の中間ご報告」を作成いたしました。ご一読いただければ幸いに存じます。

さて、当中間期のわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動により、個人消費に弱い動きもみられましたが、設備投資の増加や雇用・賃金の持ち直しなどの下支えもあり、緩やかな回復基調が続きました。また、当行の主要地盤であります四国地区の経済におきましても、公共投資は高水準で推移し、雇用情勢も改善するなど、緩やかな回復基調となりました。

当行は、こういった動きを確かなものとするため、昨年4月にスタートさせた中期経営計画「ベストリライアブル・バンクへの挑戦 ステップ1」の下、お客さまの様々なニーズや経営課題に応じた金融サービスの強化に努めるとともに、高知県内市町村との連携・協力を推し進めるなど、地域経済活性化に向けた取組みをより一層強化してまいりたいと考えております。

地域金融機関の使命は、地域の発展に貢献し、地域とともに成長することにあります。私ども四国銀行グループの役職員はこの基本的な考え方を共有し、「真っ先に相談され、地域の発展に貢献するベストリライアブル・バンク」の実現に向けて、着実にステップアップしていく所存でございます。

今後とも一層のご支援、ご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



取締役頭取 **野村直史**

## ● 経営理念

**企業使命** 地域の金融ニーズに応え、社会の発展に貢献します。

**経営方針** 企業倫理に徹し、健全な経営を行います。

**行動規範** お客さまを大切に、社会的責任を持った行動をします。

## 目標とする銀行像

「信頼される銀行」「健全な銀行」  
「活気ある銀行」として、  
地域・お客さま・株主・従業員から  
支持される銀行を目指します。

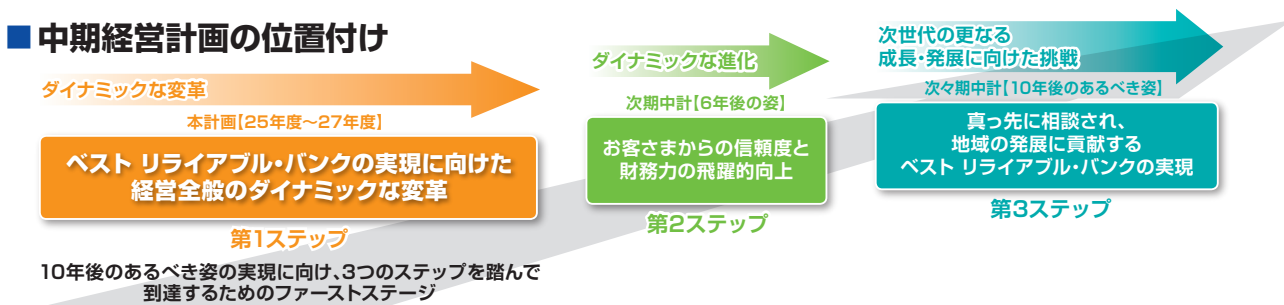
## 中期経営計画

当行は、10年後のあるべき姿の実現に向け、平成25年4月から平成28年3月まで3カ年の中期経営計画「ベスト リライアブル・バンクへの挑戦 ステップ1」に取り組んでおります。

### ■ 10年後のあるべき姿（長期ビジョン）

真っ先に相談され、地域の発展に貢献するベスト リライアブル・バンク

### ■ 中期経営計画の位置付け



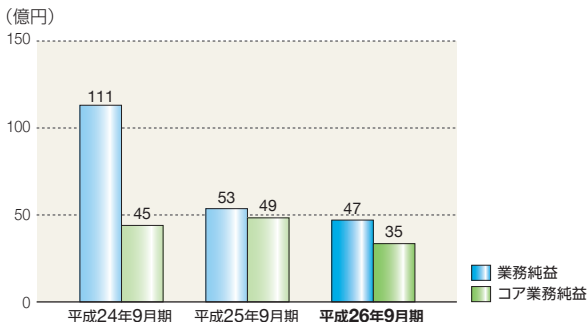
### ■ 中期経営計画の概要



※パーゼルⅢに基づく新たな国内基準により算出した自己資本比率

### ● 業務純益とコア業務純益

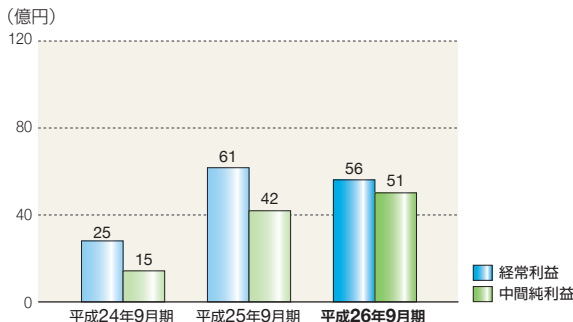
コア業務純益は、経費は減少しましたが、資金利益の減少等により、前年同期比13億円減少の35億円となりました。



◇コア業務純益とは、業務純益から国債等債券関係損益と一般貸倒引当金繰入額を除いた額です。

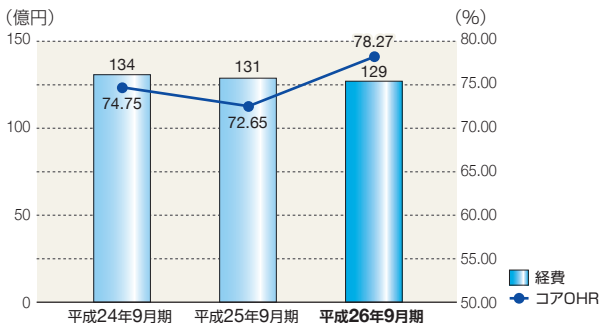
### ● 経常利益と中間純利益

経常利益は、前年同期比5億円減少の56億円、中間純利益は、法人税等の減少により、前年同期比9億円増加の51億円となりました。



### ● 経費とコアOHR

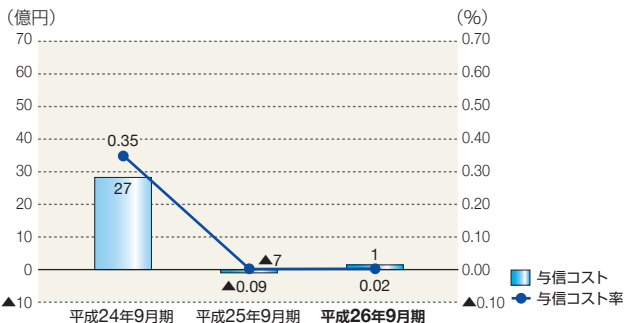
コアOHRは、前年同期比5.62ポイント上昇の78.27%となりました。



◇コアOHRとは、業務粗利益から国債等債券関係損益を除いた額に対する経費の割合です。

### ● 与信コストと与信コスト率

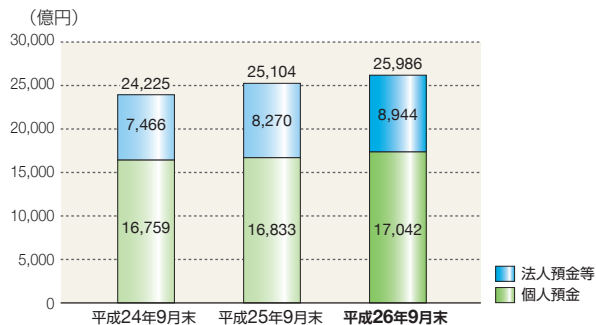
与信コストは1億円、与信コスト率は0.02%と、低水準を維持しています。



◇与信コストとは、不良債権処理に係る費用から、償却済み債権の回収額を控除した額です。  
与信コスト率とは、貸出金平残に対する与信コストの割合です。

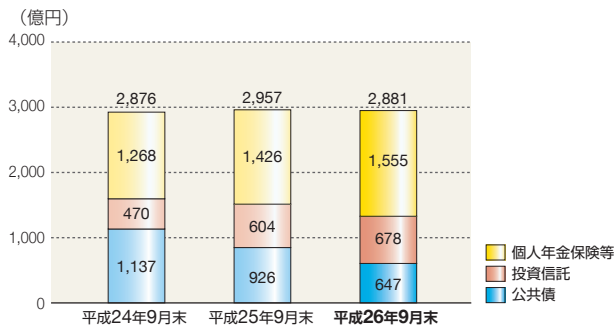
## ● 預金等残高

預金等残高(預金+譲渡性預金)は、個人預金、法人預金等がそれぞれ増加し、前年同期末比882億円増加の2兆5,986億円となりました。



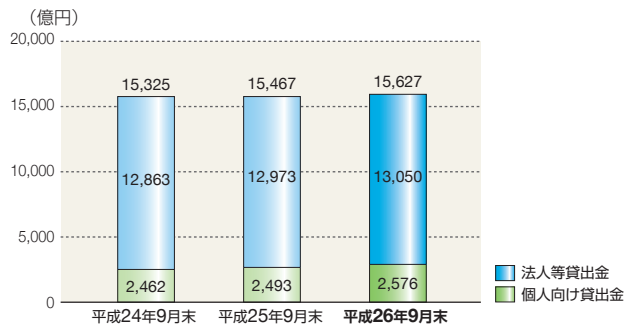
## ● 個人預り資産残高

預金以外の個人預り資産残高は、投資信託と個人年金保険等は増加しましたが、公共債の減少により、前年同期末比76億円減少の2,881億円となりました。



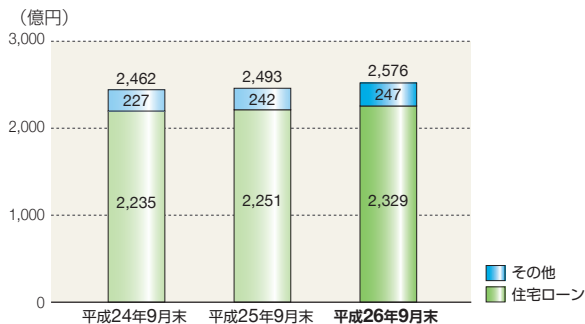
## ● 貸出金残高

貸出金残高は、法人等貸出金、個人向け貸出金がそれぞれ増加し、前年同期末比160億円増加の1兆5,627億円となりました。



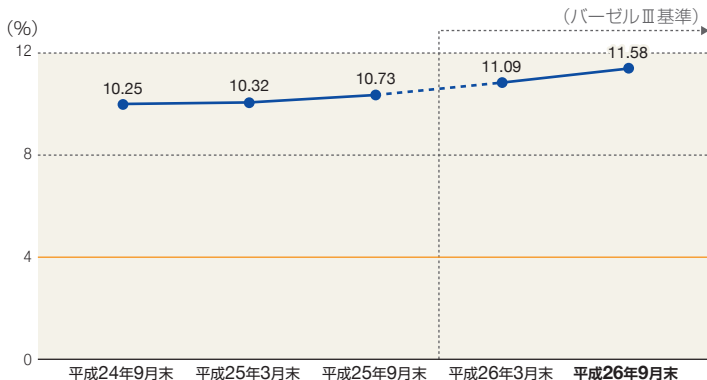
## ● 個人向け貸出金残高

個人向け貸出金残高は、住宅ローンの増加等により、前年同期末比83億円増加の2,576億円となりました。



## ● 自己資本比率（国内基準）

自己資本比率は11.58%となり、引き続き十分な水準を確保しています。



### ◇自己資本比率

銀行の経営の健全性を表す代表的な指標で、リスク・アセット（総資産のうち、万一の場合に貸し倒れの可能性がある資産）に対して資本金等の自己資本がどれくらいあるかを示します。なお、当行のように海外に営業拠点を持たない銀行は、4%以上の自己資本比率が求められています。

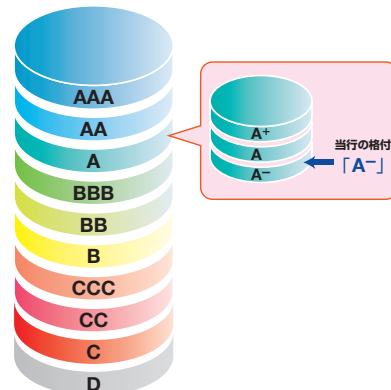
※平成26年3月末以降の自己資本比率は、バーゼルⅢに基づく新たな国内基準により算出しています。なお、平成25年9月末以前は旧基準により算出した自己資本比率を記載しています。

## ● 格付について

「格付」は企業の信用度や債務履行の確実性などを簡素な記号で表わしたものです。格付機関により企業の財務内容や収益力が総合的に判断されます。当行は日本格付研究所から格付「A-」を取得しております。長期格付「A-」は「債務履行の確実性は高い」とされており、健全な銀行としての評価を得ております。

AAA	債務履行の確実性が最も高い。
AA	債務履行の確実性は非常に高い。
<b>A</b>	<b>債務履行の確実性は高い。</b>
BBB	債務履行の確実性は認められるが、上位等級に比べて、将来、債務履行の確実性が低下する可能性がある。
BB	債務履行に当面問題はないが、将来まで確実であるとは言えない。
B	債務履行の確実性に乏しく、懸念される要素がある。
CCC	現在においても不安な要素があり、債務不履行に陥る危険性がある。
CC	債務不履行に陥る危険性が高い。
C	債務不履行に陥る危険性が極めて高い。
D	債務不履行に陥っている。

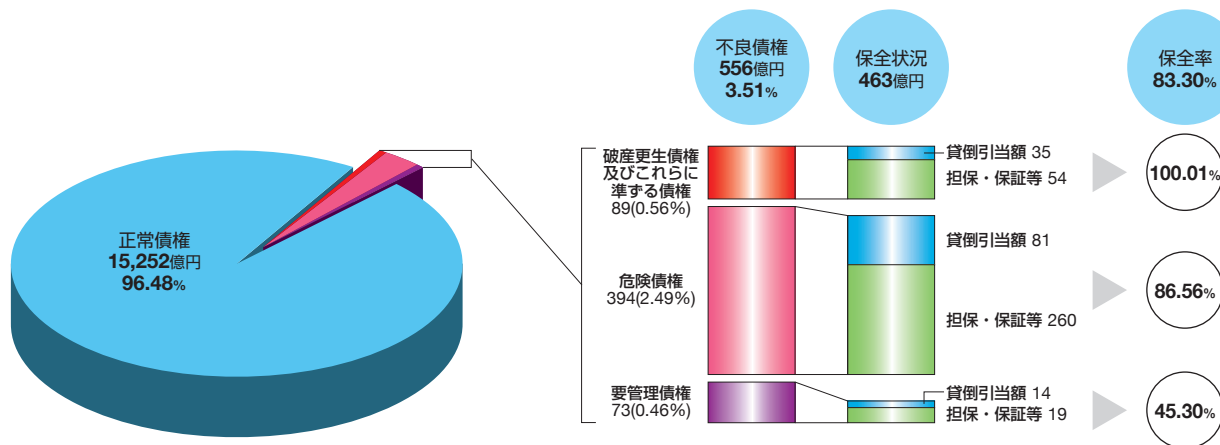
AAからBまでの格付記号には同一等級内での相対的位置を示すものとして、プラス(+)もしくはマイナス(-)の符号による区分があります。



# 不良債権の状況

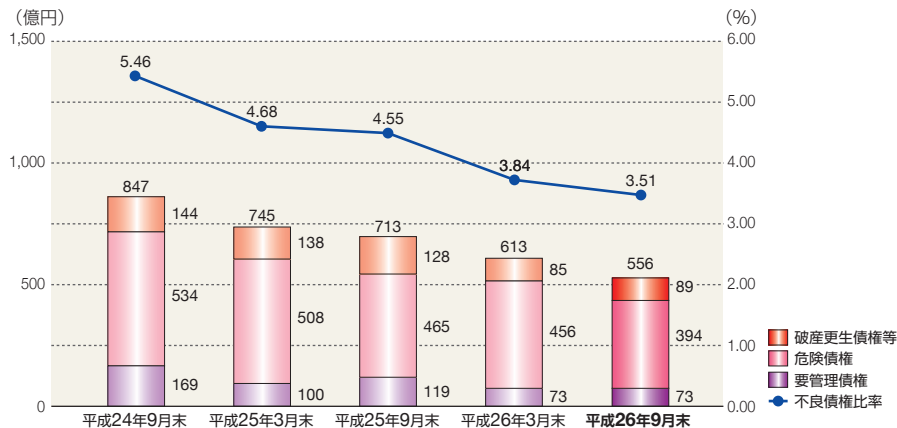
金融再生法に基づく開示不良債権は、平成25年9月末比157億円減少し、556億円となりました。これらの債権の83.30%は、担保や引当金等で保全されています。また、総与信残高に占める不良債権の割合は、平成25年9月末比1.04ポイント低下し、3.51%となりました。

## ● 金融再生法に基づく資産査定額および不良債権の保全状況（平成26年9月末）



(単位：億円) ※金額については四捨五入で表示しています。

## ● 金融再生法開示不良債権と不良債権比率

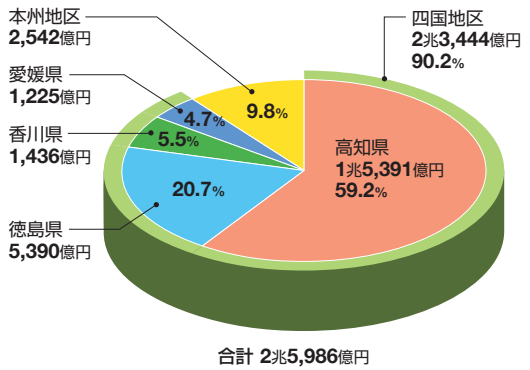


### 用語解説

- **破産更生債権及びこれらに準ずる債権**  
破産、会社更生、民事再生等により経営破綻に陥っているお取引先への債権及びこれらに準ずる債権です。
- **危険債権**  
経営破綻の状態に至っては無いが、財政状態等が悪化し、契約に従った元本または利息の支払いが困難になる可能性の高いお取引先への債権です。
- **要管理債権**  
3ヵ月以上延滞している貸出債権及びお取引先の再建・支援を図るために金利減免や元金返済猶予等を実施した貸出債権の合計です。
- **正常債権**  
お取引先の財政・経営状態に特に問題がないものとして、上記に該当しない債権です。

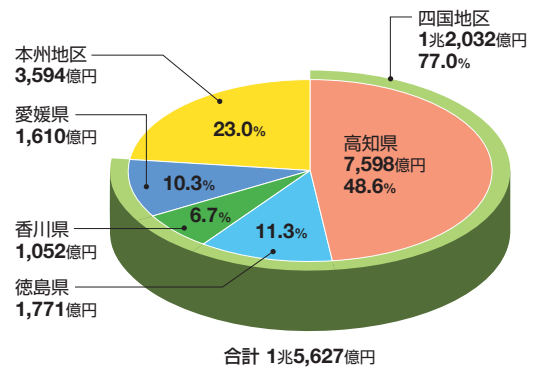
## ● 地域別預金等残高 (平成26年9月末)

四国地区の皆さまからお預りしている預金等残高は2兆3,444億円となり、預金全体の90.2%を占めています。



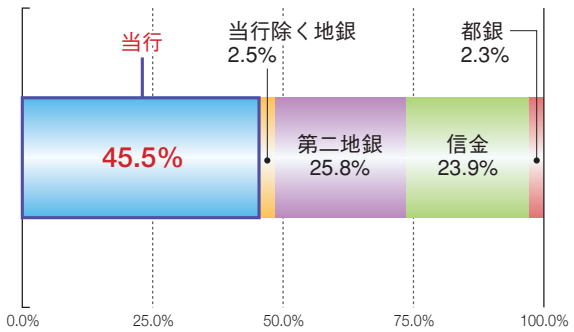
## ● 地域別貸出金残高 (平成26年9月末)

四国地区の皆さまへの貸出金残高は1兆2,032億円となり、貸出金全体の77.0%を占めています。

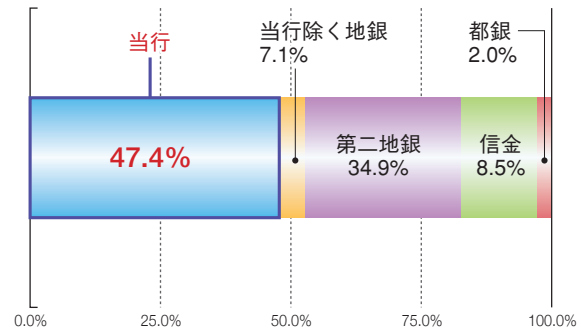


## ● 高知県内の預金等シェア (平成26年9月末)

預金・貸出金ともに、40%を上回る高いシェアを確保しています。



## ● 高知県内の貸出金シェア (平成26年9月末)

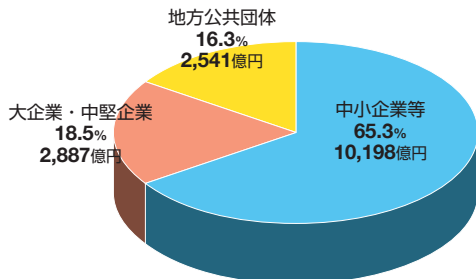


※国内銀行・県内信用金庫を対象としています。(ゆうちょ銀行・農協等を除く)



皆さまからお預りした預金は、地域の中小企業や個人の皆さまへのご融資を通じ、地域経済の発展に活かされています。

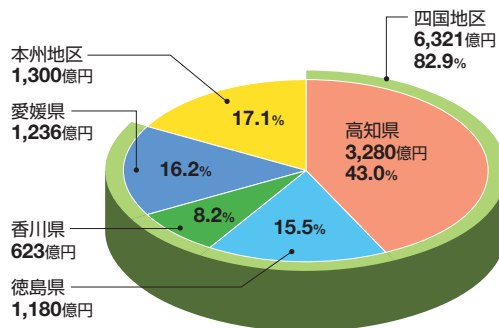
● 中小企業等貸出金の割合 (平成26年9月末)



合計 1兆5,627億円

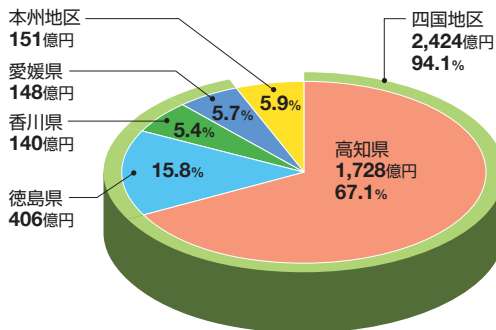
※中小企業等貸出金には個人向け貸出金を含みます。

● 地域別中小企業向け貸出金残高 (平成26年9月末)



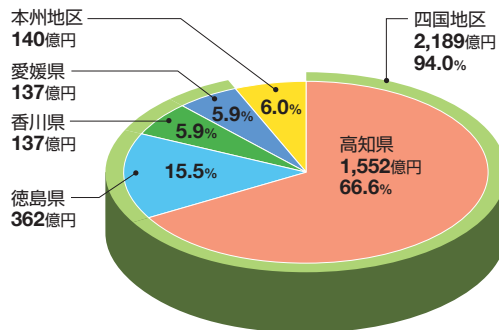
合計 7,622億円

● 地域別個人向け貸出金残高 (平成26年9月末)



合計 2,576億円

● うち地域別住宅ローン残高 (平成26年9月末)



合計 2,329億円

当行は、長期的・安定的な金融仲介機能、コンサルティング機能の提供を通じて地域経済の活性化へ貢献していくことが、地域金融機関の使命と考えております。

昨年4月からスタートした中期経営計画「ベスト リライアブル・バンクへの挑戦 ステップ1」においても、「コンサルティング機能の発揮」「地域の面的再生への積極的な参画」「積極的な情報発信」を積極的に推進し、地域経済の活性化に取り組んでおります。

### ●高知県内5市と「産業振興包括協定」を締結

高知県、高知市との連携に加え、平成26年6月に須崎市、7月に宿毛市、四万十市、9月に土佐市、10月に室戸市と「業務連携・協力に関する協定書」を締結しました。

当行は、地域経済の発展に貢献し、地域と共に発展することを目指しています。地域金融機関として本協定をもとに、更に関係を強固なものとし、地域の産業振興に貢献できるよう積極的に取り組んでまいります。

#### <締結日>



須崎市（平成26年6月10日）



宿毛市（平成26年7月14日）



四万十市（平成26年7月24日）



土佐市（平成26年9月24日）



室戸市（平成26年10月2日）

#### <協力予定事業>

- ①観光推進事業
- ②外商関連事業
- ③農林水産関連事業
- ④企業誘致推進事業
- ⑤商業振興事業
- ⑥その他各市の産業振興に関する事業

## ●<四銀>経営トップセミナーの開催

平成26年9月、女性の活躍の場を拡大し高知県経済の活性化につなげるため、包括協定に基づき高知県と共同して、「<四銀>経営トップセミナー」を開催しました。

講師には(株)FeelWorks代表の前川氏をお迎えし、「女性が活躍できる組織の創り方」と題して、「女性の活躍が求められる背景」「多様な人材が活躍できる組織とは」「マネジメント、リーダーシップのあり方」などについてご講演いただきました。



講演の様子



## ●「四銀 経営塾」の開講

平成26年4月、高知県内の若手経営者、後継者および幹部を対象とした「四銀 経営塾」を開講しました。経営塾では、講義を通して塾生が更なる成長を遂げ、それぞれの企業の発展、ひいては地域経済の活性化につなげること、さらに、塾生間の交流を深めることで、お互いに切磋琢磨し、相談できる仲間づくりの機会を提供することを目的としています。



開講式の様子



講義の様子

## ●海外進出支援への取組み

海外ビジネスサポートデスクでは、お客さまの海外進出をトータルサポートするため自治体や外部機関との提携を強化し、専門家の紹介や海外セミナー、商談会の開催など海外ビジネスの情報提供・進出支援を行っています。

### ① 台湾インバウンド商談会の開催

平成26年7月、台湾(台北市)にて四国の地方銀行4行、JTB協定旅館ホテル連盟四国4支部および四国ツーリズム創造機構と連携して、「台湾インバウンド商談会」を開催しました。近年、四国を訪れる台湾からの観光客が増加していることから、地域振興の一環として四国経済の活性化のために四国4県の地方銀行が協力して企画し実現しました。

高知県からは5施設が参加し、高知の魅力を存分にアピールしました。



台湾インバウンド商談会

### ② 海外ビジネスセミナー開催・海外情報提供

平成26年8月、当行本店にて〈四銀〉海外ビジネスセミナー「基礎からわかるハラルビジネス」を開催しました。今後、海外観光客への対応が求められる国内飲食業や観光関連業の方々を対象に「ハラル」に対する知識と対応方法に関する情報提供を行いました。今後も定期的に海外ビジネスセミナーの開催を予定しています。



海外ビジネスセミナー

### ③ 高知県との連携強化

～日中ものづくり商談会@上海2014へ参加～

平成26年9月、今回で17回目の開催となる地方銀行・自治体など40団体合同での「日中ものづくり商談会」に高知県と連携し参加しました。今年の商談会には取引先企業4社(内、県内企業3社)が参加し、中国での販路拡大や部品調達など中国企業との活発な商談が行われました。



日中ものづくり商談会

## ●環境保全への取組み

環境問題への取組みを重要な経営課題と位置付け、本店及び本店別館においてISO14001の認証を取得のうえ、省エネ・省資源、森林保全活動や環境関連商品の開発など積極的に環境保全活動に取り組んでいます。

### <「協働の森事業」への参加>

高知県、高知市と「協働の森事業」パートナーズ協定を締結、高知市鏡柿ノ又の市有林を「未来を鏡に～四銀絆の森」と名付け、行員、家族が高知市の職員の方々が結成したNPO「こうち森林救援隊」と協働で間伐ボランティア活動を行っています。



### <「四銀絆の森」交流会>

「四銀絆の森」に毎年小学生や保護者を招待し交流会を開催しています。交流会では植樹、間伐見学、木工教室などを実施し、森林の大切さを学んでいます。

### <浦戸湾・七河川一斉清掃への参加>

高知市には大きな7つの河川があり、すべてが高知の海の玄関浦戸湾に流れ込んでいます。この浦戸湾・七河川の環境保全・清流保全のための清掃に毎年約1万人の市民が参加、当行からも毎年100人程度が参加、協力しています。



## ●夏休み子ども教室

平成26年8月、小学生を対象にした「夏休み子ども教室」を開催しました。20日にはお金の大切さや金融の仕組みを理解してもらう「お金のセミナー」を、22日には「ものづくり」を担う人財の育成を目的に「科学教室」を開催しました。「お金のセミナー」には、40名の小学生が参加し、「お金の大切さ」や「金融」について学習するとともに、様々な銀行業務を体験しました。「科学教室」には57名の小学生が参加し、「世界にひとつだけのAMラジオをつくらう!」と題して、AMラジオを作成しました。

今後も、地域の将来を担う子どもたちの育成支援に取り組んでまいります。



### ●高知県のキャンペーン「高知家」への協力

当行は、「四国銀行は、高知家の一員やき。」というキャッチフレーズのもと平成25年7月より「高知家」キャンペーンに参加協力しています。平成26年4月、高知家ファミリー募金制度へ募金を行い、新デザインの「高知家」ピンバッチの提供を受けました。

当行では役職員が着用するほか、キャンペーン商品の景品として採用し、「高知家」2ndシーズンの知名度アップに協力しました。



### ●地域イベント、スポーツ振興への協力

当行は、地域とともにあゆむ銀行として、さまざまなイベントに協賛しています。

「よさこい祭り」へ今年も参加し「高知家」のロゴを付けた地方車の先導で、伝統的な踊りを披露し、地元企業、市民の皆さまとともに「よさこい祭り」を盛り上げました。

全国的に知られる「阿波おどり」にも参加しているほか、土佐の「おきゃく」や「高知龍馬マラソン」、「四万十川ウルトラマラソン」などにも協賛しています。



また、「スポーツを通じた地域活性化と地域貢献」を掲げて活動をしている「高知ファイティングドッグス」、「アイゴッソ高知」、「徳島ヴォルティス」等、地元チームの活動を支援しています。

### ●ATMがますます便利に

高知県内、徳島県内の当行ATMが、原則、平日・土曜・日曜・祝日全て8時から21時までご利用いただけるようになりました。

あわせて、紙幣でのお預け入れや、定期預金のお預け入れ、ご解約がATMの営業時間中はいつでもご利用いただけるようになりました。

※一部、設置先の営業時間等により、営業時間が異なるATMがあります。詳しくは、当行ホームページをご覧ください。

また、高知県内のサークルK・サンクスに設置のコンビニATM(バンクタイムATM)が、原則24時間ご利用いただけるようになりました。

 **バンクタイム BankTime**  
右記コンビニのうち、このマークのある店舗でご利用いただけます。



### ●インターネット専用支店「龍馬支店」

昨年11月に開設した当行初のインターネット専用支店「龍馬支店」では、インターネットを通じたお取引により、当行店舗にご来店いただくことなく預金口座が開設できるほか、龍馬支店オリジナルデザインのキャッシュカードなど様々な当行のサービスを24時間、便利にご利用いただけます。

また専用ホームページ、Facebook、Twitterを通じて、高知県の魅力や坂本龍馬に関する情報を発信しています。



### ●資産運用セミナー

将来のゆとりある生活設計に向けて、これからの資産運用のご参考にしていただくために、資産運用セミナーを開催し、資産運用の考え方や取扱商品のご案内をしています。

### ●年金相談会

地域の皆さまの年金手続きのお役にたてるよう「年金相談会」を開催しています。また、各営業店に年金アドバイザーを配置し、年金に関するお客さまのご相談にお応えしています。

### ●相続関連サービス

弁護士・税理士等を講師とした「相続対策セミナー」を各地区で開催し、法務・税務・財務等の様々な観点から、お客さまのお役に立てる情報を提供しています。当行の相続関連サービスには、「遺言信託」「遺産整理業務」「財産承継プランニング」等があり、今後もお客さまの相続に関する課題の解決やサポートに一層取り組んでまいります。



## 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当中間連結会計期間 (平成26年9月30日)	科目	当中間連結会計期間 (平成26年9月30日)
	金額		金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	176,848	預金	2,418,089
コールローン及び買入手形	669	譲渡性預金	177,107
買入金銭債権	10,646	コールマネー及び売渡手形	29,442
商品有価証券	694	借入金	53,875
金銭の信託	3,657	外国為替債	11
有価証券	1,067,866	社債	7,000
貸出金	1,563,207	その他負債	34,469
外国為替	7,662	退職給付に係る負債	4,539
その他資産	10,483	役員退職慰労引当金	8
有形固定資産	40,754	睡眠預金払戻損失引当金	1,165
無形固定資産	2,635	ポイント引当金	43
繰延税金資産	109	繰延税金負債	1,882
支払承諾見返	6,598	再評価に係る繰延税金負債	6,350
貸倒引当金	△23,470	支払承諾	6,598
		<b>負債の部合計</b>	<b>2,740,583</b>
		(純資産の部)	
		資本金	25,000
		資本剰余金	6,563
		利益剰余金	62,149
		自己株式	△1,332
		株主資本合計	92,379
		その他有価証券評価差額金	21,180
		繰延ヘッジ損益	△358
		土地再評価差額金	10,449
		退職給付に係る調整累計額	811
		その他の包括利益累計額合計	32,083
		新株予約権	87
		少数株主持分	3,229
		<b>純資産の部合計</b>	<b>127,780</b>
<b>資産の部合計</b>	<b>2,868,364</b>	<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>2,868,364</b>

## 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当中間連結会計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
	金額
経常収益	21,981
資金運用収益	15,488
(うち貸出金利息)	(11,143)
(うち有価証券利息配当金)	(4,210)
役員取引等収益	3,119
その他業務収益	1,447
その他経常収益	1,926
経常費用	16,151
資金調達費用	1,138
(うち預金利息)	(639)
役員取引等費用	712
その他業務費用	61
営業経費	12,956
その他経常費用	1,281
<b>経常利益</b>	<b>5,830</b>
特別利益	0
固定資産処分益	0
特別損失	218
固定資産処分損	14
減損損失	204
税金等調整前中間純利益	5,612
法人税、住民税及び事業税	417
法人税等調整額	△72
法人税等合計	344
少数株主損益調整前中間純利益	5,267
少数株主利益	124
<b>中間純利益</b>	<b>5,143</b>

## 連結子会社

4社

- 四銀代理店株式会社
- 四国保証サービス株式会社
- 四銀コンピューターサービス株式会社
- 株式会社四銀地域経済研究所

## 持分法適用関連会社 1社

- 四銀総合リース株式会社

## ◆資産の部

お客さまへのご融資を示す「貸出金」や国債・株式などで運用している「有価証券」など銀行の資産の内訳を表わしています。

## ◆負債の部

お客さまからお預りしている「預金」をはじめ、資金の調達状況など負債の内訳を表わしています。



# 財務諸表（単体）

## 中間貸借対照表（単体）

（単位：百万円）

科目	当中間会計期間 (平成26年9月30日)	科目	当中間会計期間 (平成26年9月30日)
	金額		金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	176,848	預讓渡性預金	2,419,573
コールローン	669	コールマネー借入	179,107
買入金銭債権	10,646	外国為替	29,442
商品有価証券	694	その他負債	53,875
金銭の信託	3,657	未払法人税等	11
有価証券	1,066,561	リース債務	7,000
貸出金	1,562,742	資産除去債務	33,114
外国為替	7,662	その他の負債	219
その他資産	10,477	退職給付引当金	1,056
その他の資産	10,477	睡眠預金払戻損失引当金	139
有形固定資産	40,648	ポイント引当金	31,698
無形固定資産	2,632	繰延税金負債	5,726
支払承諾見返	6,598	再評価に係る繰延税金負債	1,165
貸倒引当金	△ 22,705	支払承諾	43
		負債の部合計	2,743,447
		(純資産の部)	
		資本剰余金	25,000
		資本準備金	6,563
		利益剰余金	6,563
		利益準備金	62,086
		その他利益剰余金	16,132
		別途積立金	45,954
		繰越利益剰余金	35,000
		自己株式	10,954
		株主資本合計	△ 1,240
		その他有価証券評価差額金	92,409
		繰延ヘッジ損益	21,097
		土地再評価差額金	△ 358
		評価・換算差額等合計	10,449
		新株予約権	31,188
		純資産の部合計	87
資産の部合計	2,867,132	負債及び純資産の部合計	123,684
			2,867,132

### ◆純資産の部

株主の皆さまからご出資いただいた資金(資本金)やこれまでに利益などから蓄えてきました剰余金などを表わしたものであり、銀行の「体力」といべきものです。

## 中間損益計算書（単体）

（単位：百万円）

科目	当中間会計期間 (自平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
	金額
経常収益	21,844
資金運用収益	15,482
（うち貸出金利息）	(11,139)
（うち有価証券利息配当金）	(4,208)
役員取引等収益	3,000
その他業務収益	1,447
その他経常収益	1,914
経常費用	16,229
資金調達費用	1,139
（うち預金利息）	(639)
役員取引等費用	876
その他業務費用	61
営業経費	12,877
その他経常費用	1,274
経常利益	5,614
特別利益	0
特別損失	218
税引前中間純利益	5,396
法人税、住民税及び事業税	339
法人税等調整額	△ 70
法人税等合計	268
中間純利益	5,127

### ◆経常収益

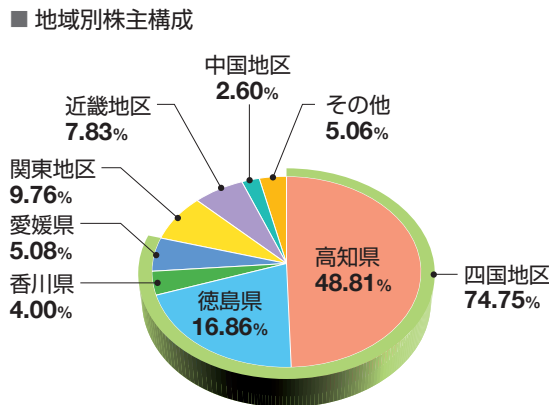
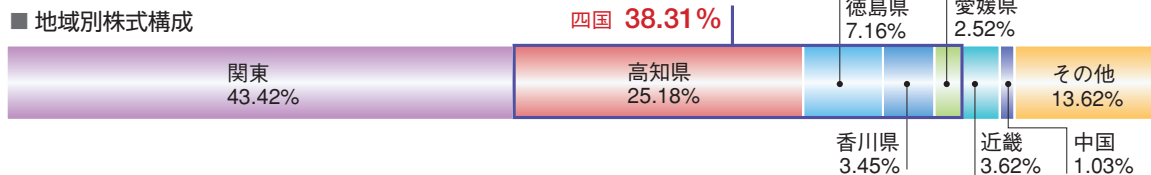
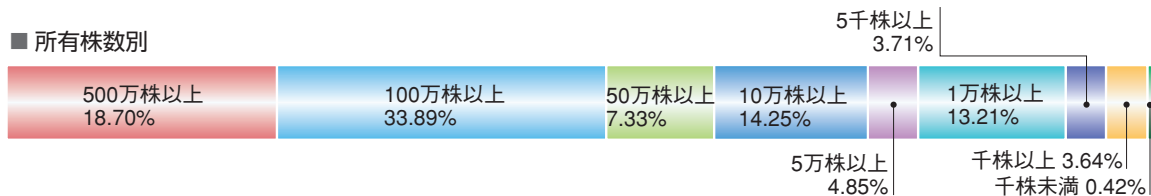
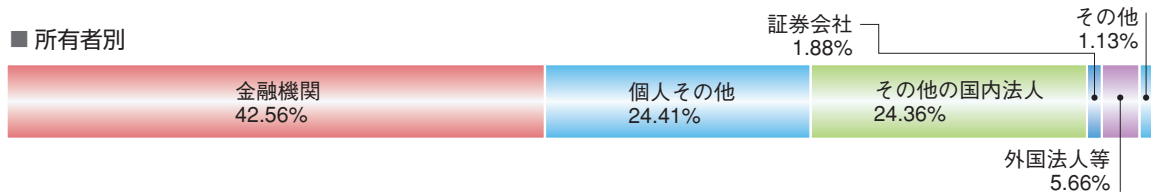
銀行が通常の業務により得た収益を表わしたもので貸出金利息、有価証券利息配当金、各種手数料などで構成されています。

### ◆経常費用

銀行が通常の業務を行ううえで支払った費用を表わしたもので、預金利息や営業経費などで構成されています。

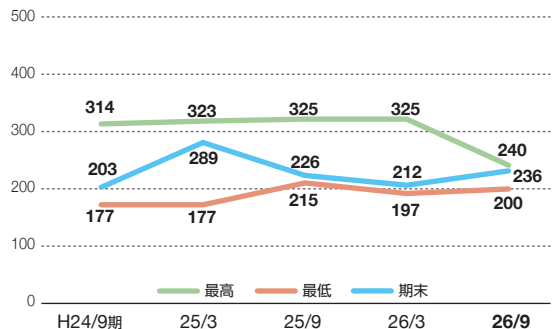
# 株式の状況 (平成26年9月30日現在)

- 株主数 9,923人
- 発行済株式の総数 218,500,000株
- 株式の分布状況 (単元未満株を含む)



## ● 株価の状況

当行の株価推移 (円) 期中における最高・最低・期末株価



## ● 株式のご案内

### ◆ 事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日までの1年といたします。

### ◆ 配当のお支払

1. 期末配当は、毎年3月31日を基準日とし、定時株主総会終了後ご指定の方法によりお支払いいたします。
2. 中間配当を行う場合は、毎年9月30日を基準日とし、取締役会の決議によってご指定の方法によりお支払いいたします。

### ◆ 基準日

定時株主総会の議決権の基準日は、毎年3月31日といたします。その他必要があるときは、あらかじめ公告のうえ定めます。

### ◆ 公告方法（電子公告）

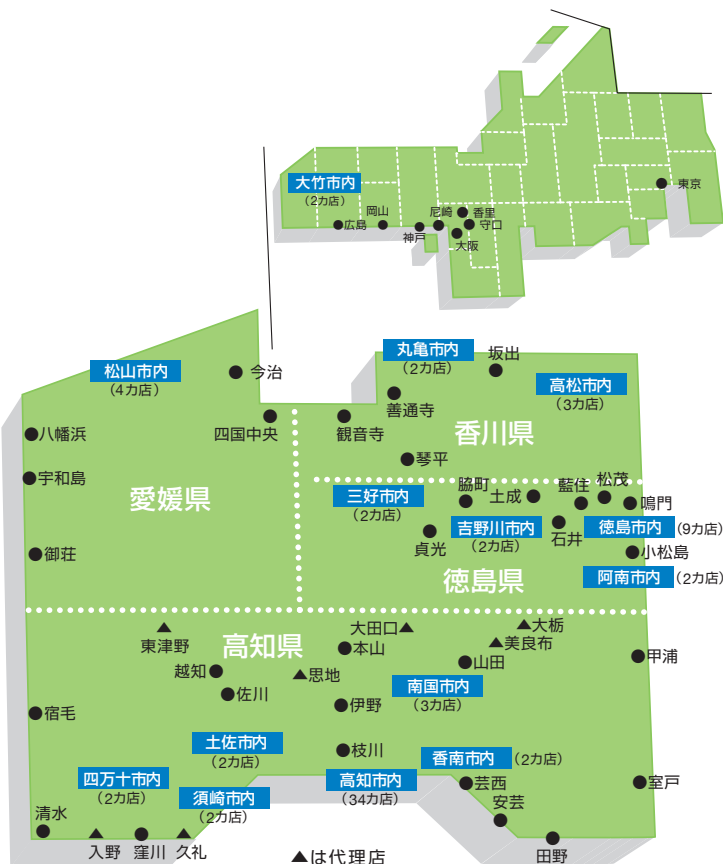
当行の公告は、ホームページに掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、高知新聞および日本経済新聞に掲載いたします。

### ◆ 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問い合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
各種手続き取扱店 (住所変更、株主配当金 受取り方法の変更等)		みずほ証券 本店、全国各支店および営業所 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)でも お取扱いたします。  みずほ信託銀行 本店および全国各支店 *トラストラウンジではお取り扱いできませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続き取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式 売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式 の振替手続を行っていただく必要があります。

## ● 当行の概要 (平成26年9月30日現在)

名称	株式会社四国銀行
英文表示	The Shikoku Bank, Ltd.
本店所在地	〒780-8605 高知市南はりまや町一丁目1番1号 TEL:088-823-2111(代表)
創業年月日	明治11年10月17日
資本金	250億円
店舗数	118店舗(代理店を含む) (高知県66店舗、徳島県23店舗、 香川県9店舗、愛媛県9店舗、 本州10店舗、インターネット 専用支店1店舗)
従業員数	1,465人



## ● 通帳・キャッシュカード等紛失時連絡先

	電話受付時間	連絡先	連絡先電話
平日	08:30 ~ 17:30	各お取引店	各お取引店
	上記以外の時間帯	カード受付共同センター	☎0120-009-459
銀行休業日	24時間		



発行：平成26年11月 株式会社四国銀行 総合企画部  
〒780-8605 高知市南はりまや町一丁目1番1号 TEL:(088)823-2111  
<http://www.shikokubank.co.jp/>